



## ㊦鶴岡工業高校アントレ教育が実を結ぶ！

### 高校生のアイデアが大手企業と連携実現

～ Honda 開発の後付け電動アシストサービス「SmaChar i（スマチャリ）」の

モニター参加が決定 ～

県立鶴岡工業高等学校（校長：齋藤 秀志、所在地：山形県鶴岡市）は、生徒が地域課題の解決と新たな価値創造を目指すアントレプレナーシップ教育を推進しており、この度、その成果として、生徒のビジネスアイデアをきっかけに、本田技研工業株式会社（以下、Honda）が開発した、さまざまな自転車を電動アシスト化・コネクテッド化できるサービス「SmaChar i（スマチャリ）」をモニターとして提供を受けることが決定しました。

#### 1 アントレプレナーシップ教育とコンテスト受賞

本校は、変化の激しい社会で活躍できる人材育成のため、探究学習を通じて地域課題を深く掘り下げ、解決策をビジネスプランとして提案するアントレプレナーシップ教育に注力しています。昨年開催された、山形県の地域課題解決を目指すコンテスト型合宿プログラム「やまがたイノベーションプログラム 2024」（主催：公益財団法人やまがた産業支援機構、山形県、山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター、山形放送株式会社）において、本校から出場した「HIKARUYOUJI」チーム（生徒3名）が、以下のアイデアで優秀賞を受賞しました。

受賞プラン：「鶴岡登校革命!! ～電動アシスト自転車の活用～」

内容： 既存の自転車に後付けで装着可能なアタッチメント式の電動アシスト装置を開発し、自転車通学における坂道や積雪などの負担を軽減するというアイデア。

#### 2 連携実現の経緯と「SmaChar i」の貸し出しモニター参加

コンテストのメンターを務めた高坂幹男氏（株式会社スクーミー）がこの度、高校の科目「情報」の教材制作の一環で、Hondaが開発する「SmaChar i」<sup>1)</sup>の取材を行った際、本校チームのアイデアをHondaに伝達しました。Hondaは、高校生が地域の課題解決のために自社の製品コンセプトに近いアイデアを考案したことに関心を示され、この取り組みを支援するため、教育目的と通学での活用を条件に、生徒チームへ「SmaChar i」搭載自転車をモニターの形で貸し出し提供されることとなりました。生徒たちは、考案したアイデアに近い最先端技術に触れる機会を得ることで、製品の技術的特長や市場性を深く学び、今後のビジネスプランのブラッシュアップに活かしていきます。

### 3 今後の展望

この度の連携は、生徒が机上の学習に留まらず、実際に企業や社会と関わりながら、自らのアイデアを検証し、社会実装に向けて考える貴重な機会となります。本校は、この連携をアントレプレナーシップ教育の新たな一歩と捉え、生徒の主体性と創造性をさらに育む教育を推進してまいります。全国的にも注目に値する本校の特色ある学びを、広く県民の皆様にお知らせする絶好の機会です。ぜひとも本件の取材をご検討ください。

### 4 取材に関するご案内

つきましては、この度の生徒の取り組みと Honda との連携に関する取材を以下の通り受け付けさせていただきます。

項 目	詳 細
取材可能日時	12月19日（金） 15時30分～16時30分
場 所	県立鶴岡工業高等学校 会議室、校内
主な取材対象	HIKARUYOUJI チーム（生徒3名） 安藤 悠 氏（本田技研工業株式会社） 大貫 博崇 氏（本田技研工業株式会社） 高坂 幹男 氏（株式会社スクーミー、メンター、オンライン参加） 日下遼太郎 氏（株式会社スクーミー）
取材内容	・生徒によるビジネスプランの紹介 ・Honda「SmaChar i」を搭載した車両の生徒によるデモンストレーション走行（晴天時） ・質疑応答（教育、アイデア、製品の感想など）
申込期限	前日、12月18日（木）正午、下記担当までご連絡ください。

### 5 その他 ご不明な点、および個別取材案件等についても、下記担当までお問い合わせください。

1) SmaChar i の詳細は、添付資料参照。自転車に取り付けられる「後付け電動アシスト化システム」と「コネクテッド機能」を採用することで、道路交通法に準拠した形で既製の自転車を電動アシスト化することを可能にします。また、「高校生の自転車通学をより快適にしたい」、「多くの方に安全な移動手段を提供したい」という思いから、様々な安心機能や便利機能を提供しています。

2) 【SmaChar i 公式ウェブサイト】<https://www.honda.co.jp/SmaChar i/>

---

担 当 山形県立鶴岡工業高等学校 TEL : 0235-22-5505／FAX : 0235-25-4209  
窓 口 教頭 大張 卓 Mail : sobarit@pref-yamagata.ed.jp

## SmaChari (スマチャリ)とは？



SmaChari イメージ

SmaChari は、スマートフォンアプリと自転車に取り付ける電動アシストユニットで構成され、日本初<sup>※1</sup>となる、個々の取り付け車両のタイプに合わせて法規に準拠するアシスト出力を算出、適用させる出力制御技術により、さまざまなタイプの自転車を電動アシスト化・コネクテッド化することが可能なサービスです。ユーザーは、スマートフォンアプリを通じて、電動アシストシステムの起動や個人に合わせたアシスト出力の最適化、速度など走行状態やバッテリー残量の表示、故障の検知、走行データ管理、位置情報の共有、所有者情報の管理、急発進の抑制や急ブレーキが多い地点での注意喚起など、コネクテッド機能を活用したさまざまな機能・情報を利用できます。

※1 2025 年 10 月現在 Honda 調べ

SmaChari は、Honda の新事業創出プログラム「IGNITION（イグニッション）」から生まれたサービスです。自転車で通学する高校生の体力的負担や交通事故への不安など、学生の通学にまつわる課題を解決し、より快適な通学環境と移動の喜びを提供することを目指して開発されました。Honda は、SmaChari のスマートフォンアプリをお客様に提供するとともに、SmaChari を搭載した自転車を製造・販売する企業に対して、電動アシストユニットの制御ソフトウェアに関する技術を始めとする各種ライセンス、ならびに SmaChari を運用・管理するコネクテッドプラットフォームを有償で提供しています。

### ■詳細情報

#### 【SmaChari 公式サイト】

<https://www.honda.co.jp/SmaChari/>

#### 【SmaChari 関連情報】

##### ・過去リリース

<https://global.honda.jp/news/2023/c230329.html>

[https://global.honda.jp/topics/2025/c\\_2025-10-15.html](https://global.honda.jp/topics/2025/c_2025-10-15.html)

##### ・技術情報

Honda Technology サイト「自転車をもっと自由に安心して」  
[https://global.honda.jp/tech/electric\\_assist\\_bicycle\\_SmaChari/](https://global.honda.jp/tech/electric_assist_bicycle_SmaChari/)